

家庭科通信

～よりよい生活のために～

●発行日／令和8年3月発行(令和7年度第4号)

●発行元／翔洋学園高等学校 家庭科 発行

日々の生活は、衣・食・住、そして人とのかかわりの積み重ねで成り立っています。家庭科では、その「当たり前の生活」を見つめ直し、自分で考え、選び、創り出す力を育てることを大切にしています。

今号では第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールにおいて入賞した作品と出品作品を紹介するとともに、これからの家庭科教育の方向性についてお伝えします。



第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて

「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」とは、ミシンを使い、家庭科で学んだ力を使って「社会の役にたつモノ・コト」を提案・実践する全国規模のコンクールです。本校からは、学校設定科目「ソーイングデザイン」を学んでいる生徒がコンクールに挑戦し、日常生活の課題に真摯に向き合った作品が出品されました。

■入賞作品の紹介【リメイク・デコ部門】全国大会入賞おめでとうございます!!

【制作者】

千葉キャンパス3年次
武井 杏奈 さん

【部門名】

リメイク・デコ部門

【作品名】

パンクロリショルダーバッグ



【作品の説明】

通販サイトでかわいいバッグを購入し届いたら、思っていた感じと少し違っていました。一度すべて分解し、ベースは残しつつ、私の身体とファッションに合うようにリメイクしてみました。



【工夫したところ】

かわいさからパンクな雰囲気へ
【縫製が難しかったところは】
角の丸みや、レースの付け替えが難しかった。
【今後の生活に参考になる点】
海外の通販サイトから商品を購入する際は十分気を付けること。

【家庭科教員より】

自分の身体に合わせたサイズ感や自分の好きなデザインにリメイクする力は、創造力やモノを大切にできる気持ちだけではなく、物事に対する問題解決能力にもつながる力です。今後の作品制作にも期待していますね。

■出品作品の紹介

*入賞には至らなかったものの、どの作品にも生徒一人ひとりの工夫と学びが詰まっていた



蜂のドレス



はあと



チェリーパイのぬいぐるみ



はる



ハートパック



ふわふわタコみえこ

■リメイク作品とSDGsの視点

今回のコンクールには、使われなくなった布や衣類、身近な素材を活用した「リメイク作品」も出品されました。リメイクは「モノを大切に使い続ける」という行動そのものであり、SDGsの考え方と深く結びついています。

●リメイクとSDGsのつながり

～SDGsで掲げる項目の中で、特に以下の2つが該当します～

【目標12】つくる責任・つかう責任

⇒必要なものを見極め、長く使う工夫をする

【目標13】気候変動に具体的な対策を

⇒廃棄物を減らし、環境負荷の少ない選択を考える



QRコードを読み込んでSDGsについて調べてみよう！

国際連合広報センター
SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは？▶



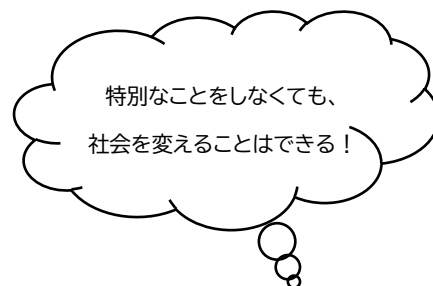
生徒たちは、作品作りを通して「新しく買う」以外の選択肢があること、自分の工夫が社会や環境に繋がっていることを実感しました。

●SDGsに配慮できている？セルフチェックリスト

*日々の生活を振り返りながら、SDGsの視点で考えてみましょう。当てはまるものにチェック☑を入れてみてください。

- まだ使えるものを「捨てる」以外の方法で活用しようと考えた
- 新しく買う前に、家にある材料で代用できないか考えた
- 長く使えるよう、丈夫さや使いやすさを工夫した
- 環境への負担(ごみ・資源・エネルギー)を意識した
- 家族や友人と相談しながら制作・改善を行った
- 性別や年齢に関わらず、誰でも使いやすい形を意識した

▶チェックが多いほど、あなたの行動はSDGsにつながっています



家庭科より*****

今年度も家庭科は、食生活分野(調理実習)をはじめ、被服分野(被服制作)、金融教育分野、生活経営分野、保育分野、高齢者分野…。様々な分野についてレポートを通じて学ぶことができました。これからの家庭科教育は、「作れる・できる」だけでなく、①自分の生活を自分でデザインする力、②多様な価値観を尊重し、他者と協働する力、③持続可能な社会を意識した選択ができる力を育てることが求められてきます。家庭科の学びは、日々の暮らしそのものです。本校としても、生徒一人ひとりが、自分の生活や将来を主体的に考えられるよう、今後も教育活動を展開していきます。
